

2024. 8. 28 年少さんの集中

「先生、年少さん、とっても静かにやってるんですよ」と、11 時頃、年少担任の先生が、職員室にいた私に声をかけてくださいました。

早速保育室に行ってみると、「葉っぱに水を垂らそう」とやってみているということで、年少児が、薄い色のついた色水の容器の中に透明のスポイドの先を入れて水を吸い、自分の葉っぱに水を垂らしていました。

スポイドを指で押したり緩めたりしながら容器の中の色水をスポイドに吸い込ませることも初めての子供たち。でもそのこと自体もおもしろく、だんだん水を入れたり出したりすることがうまくなっていきます。

1 滴 1 滴、葉っぱに垂らしている子、ジュワーっと葉っぱに小さな水たまりを作っている子、葉っぱの水を水と同じ目の高さで見ている子。3 色の色水の、薄い赤と青の色水が混ざってスポイドの中で紫になり、「むらさき！」とスポイドを見つめている子もいます。

今日は、教育実習 3 日目。実習生さんが主で保育をする時間で、「水」の絵本の読み聞かせ、水を入れたペットボトルを振ると色水になるというマジックを見せる、そして、葉っぱに水を垂らす、という流れで今の時間になっています。降園前の時間の読み聞かせは「しずくのぼうけん」を読むということでした。

幼稚園では好きな遊びの時間に、好きな遊びを楽しんでいますが、今日のみんなの時間は、遊びの振り返りの後に、「葉っぱに水を垂らす」というわくわくする活動。スポイドという新しい道具の使い方や、スポイドだからやりやすい水を 1 滴ずつ垂らすこと、水滴の形のきれいさや不思議さ、色がスポイドの中で混ざり合って新しい色ができる発見など、心動かされながらいろいろな経験・気づき（知識・技能）を得ています。それが、明日以降の好きな遊びの時間に活用されていく。

実習生さんたちは、そういう子供たちの姿を見て保育の楽しさを感じ、保育に関わる仕事を選んでいってくれたら嬉しいな、と思う時間でした。

